



■取付けられる方へのお願い

- 納品時に各部材を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 運搬・加工の際は、傷つかないように取扱ってください。また、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。

■取付け上のお願い

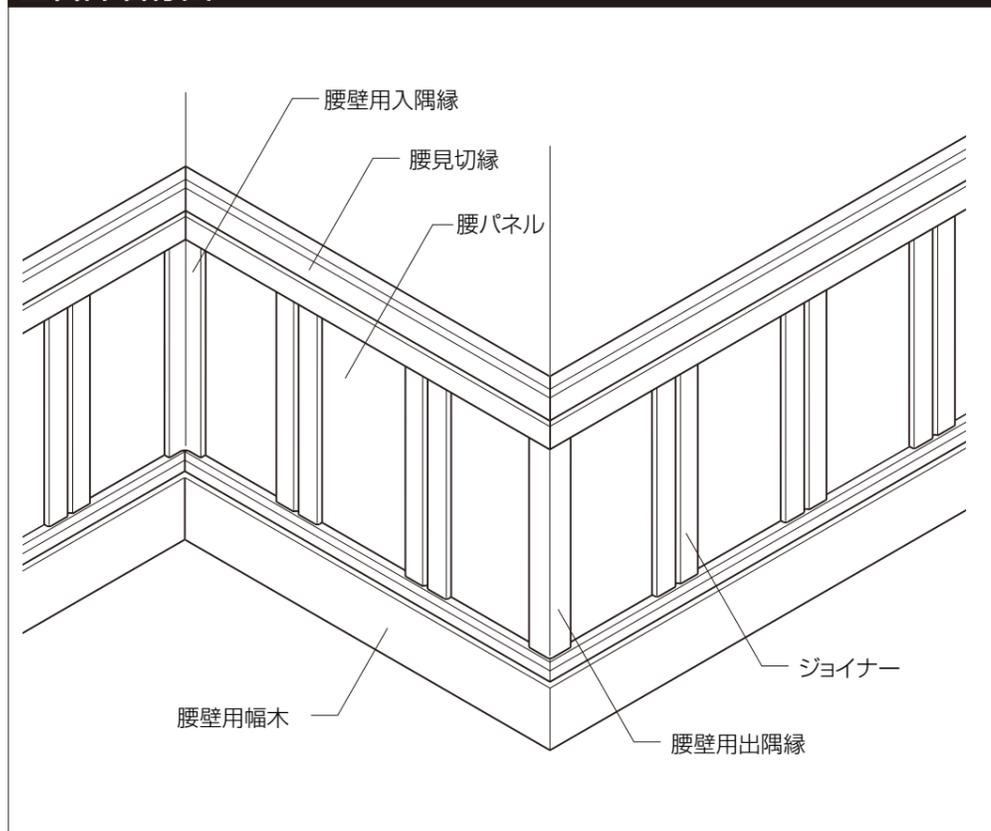
- 下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 下地材にぬれた材料を使用するとソリやすくなり、接着不良の原因になります。
- 基材にMDF(中密度繊維板)を使用しておりますので、水分を含むと膨潤するおそれがあります。加工条件にご注意ください。
- 床面の水平、壁面下地の平滑を確認してください。
- 腰パネルの目地が下地合板の目地と重ならないようにしてください。
- 腰壁用幅木と腰見切縁の留め部には、必ず接着剤を塗布してすき間のないようにしてください。
- 接着剤と釘は用途により使い分けてください。合板とMDFとの接着の際は木工用ボンド、樹脂シートと樹脂シート又は樹脂シートとMDFとの接着の際はポリネートチューブ(150g入り：NZZZ062)を使用してください。腰パネルを取付ける際は、左右端はパネル釘、上部は仮釘を使用してください。腰壁用幅木、腰見切縁、ジョイナー、腰壁用出入隅縁を取付けるときはかくし釘(40mm)を使用してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。

■部品・部材一覧表

タイプ	部材名	腰パネル	腰壁用出隅縁	腰壁用入隅縁	腰見切縁	腰壁用幅木	ジョイナー
腰壁(ジョイナー付デザイン)	部材						
	断面図						

※取付け用の釘類は現場手配となります。

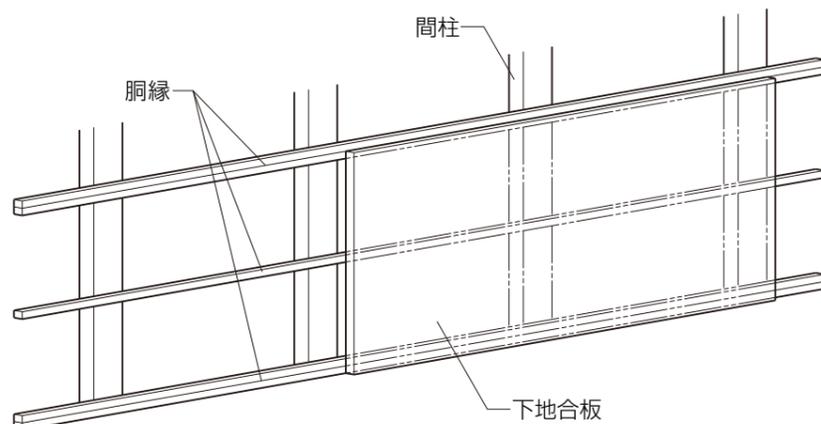
■各部名称図



■施工前準備

1 下地処理

- 下地は、9mm以上の合板で仕上げてください。(捨て張り施工専用です。胴縁施工はできません。)



2 腰壁部材の割付け

※壁面の中心から左右に振り分けて施工し、両サイドで切断調整してください。

●次の方法で割付けると、バランスよく仕上がります。

【腰壁(ジョイナー付デザイン)の場合】

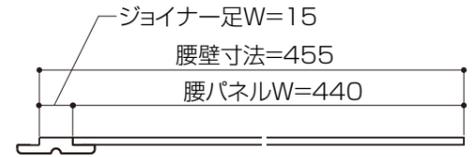
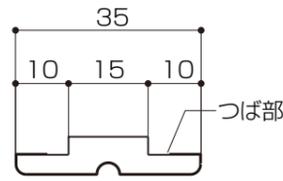
●(壁面有効寸法 - つば部10mm) ÷ 腰壁寸法

残りの寸法があれば、

(最後の1枚の腰パネル + 残りの寸法) ÷ 2 - (ジョイナー足W15mm)

を左右に割付けると、左右の腰パネルの大きさが同じになります。

■ジョイナー



■参考：片側ドア枠、片側入隅納まりの場合

(例1) 壁面有効寸法：1840mmの場合

$(1840 - 10) / (440 + 15) = 4.022 = 3 + 1.022$

$1.022 / 2 \times (440 + 15) = 232.5$

調整用割付パネル寸法：232.5 - 15 = 217.5

割付→440パネル：3枚、217.5パネル：2枚、ジョイナー5本

(例2) 壁面有効寸法：1820mmの場合

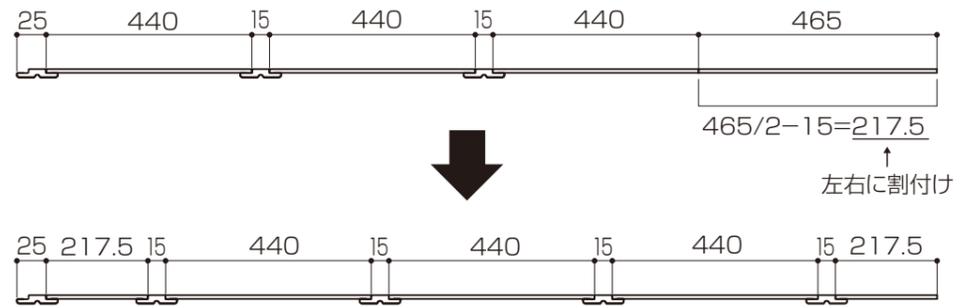
$(1820 - 10) / (440 + 15) = 3.978 = 2 + 1.978$

$1.978 / 2 \times (440 + 15) = 450$

調整用割付パネル寸法：450 - 15 = 435

割付→440パネル：2枚、435パネル2枚、ジョイナー4本

■1840mmの場合



取付け順序

■各部材の取付け順序(腰見切り縁納まりも、同様の取付け順序となります。)



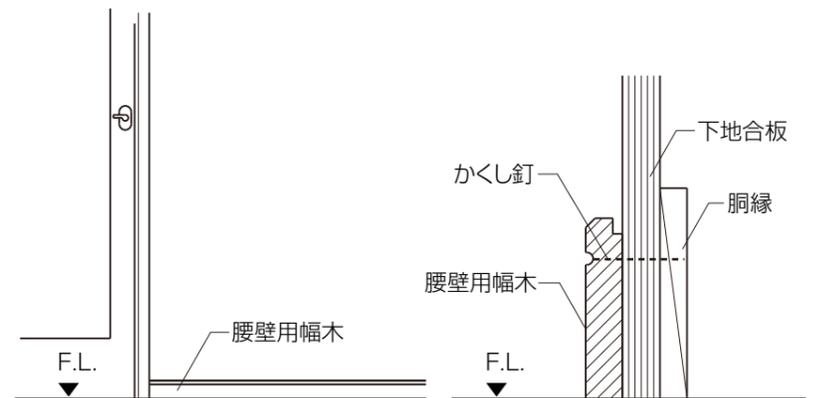
1 腰壁用幅木の取付け

①幅木を必要寸法に切断します。

②幅木の裏面に接着剤(木工用ボンド)を十分に塗布し、かくし釘を用いて取付けます。

※かくし釘は、300mm以内の間隔で溝部に打込んでください。

※腰見切り縁を縦見切りとして使用する場合は、腰見切り縁分の寸法を開けてから幅木を取付けてください。

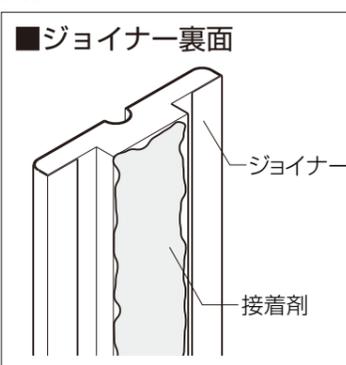


2 ジョイナー・見切り縁の取付け

※腰壁は仕上がり高さが920mmとなっています。調整する場合は、腰パネル・ジョイナー・出入隅縁をカットして高さ調整を行ってください。
仕上がり高さ = パネルの高さ (カットして調整) + 90mm

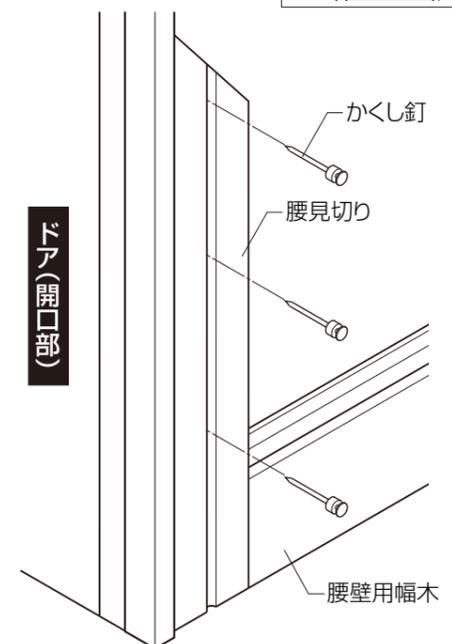
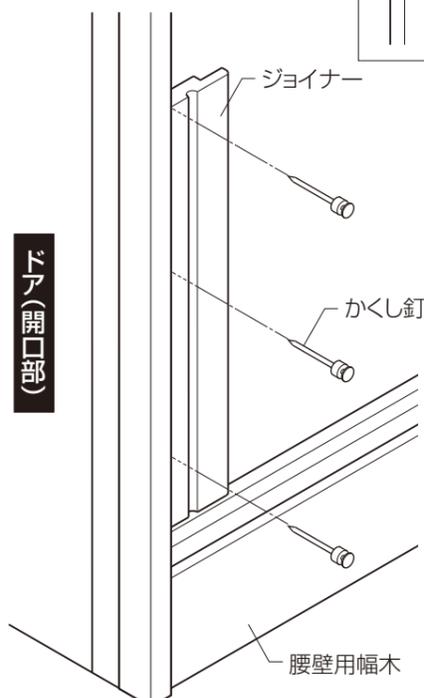
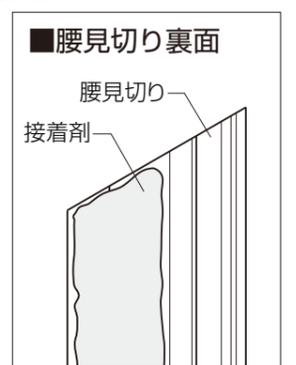
【ジョイナー納めの場合】

①ジョイナーの裏面に接着材(木工用ボンド)を塗布し、かくし釘を溝の上・下端部・中間部に打込んで取付けます。



【腰見切り縁納めの場合】

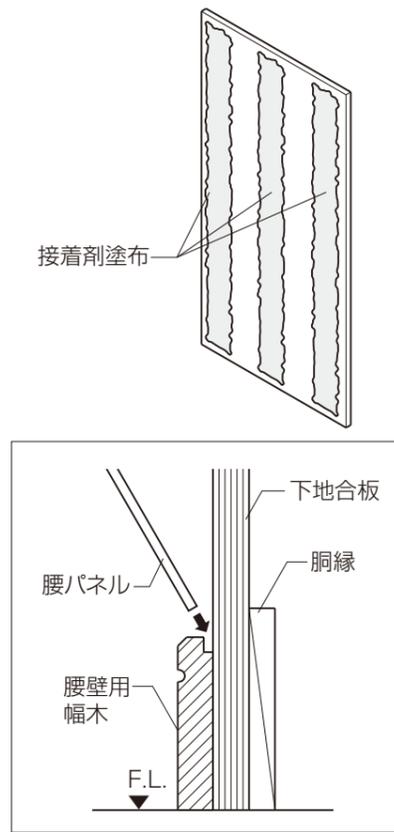
①腰壁の仕上がり高さに合わせて、45°留め加工を行います。
②腰見切り裏面に接着材(木工用ボンド)を塗布し、かくし釘を溝の上・下端部・中間部に打込んで取付けます。



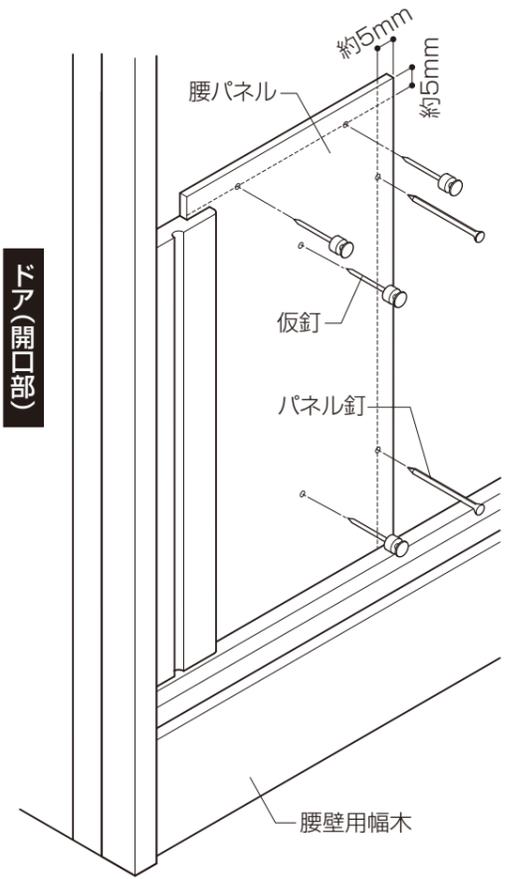
3 腰パネルの取付け

- ①腰パネル裏面の両サイドとセンターに接着剤(木工用ボンド)を塗布します。
- ②腰パネルを腰壁用幅木とジョイナーのしゃくり部に差込みます。
- ③ジョイナーがかぶる部分にはパネル釘を、腰見切縁がかぶる部分と腰パネルの中心部は接着剤が硬化するまで仮釘で下記のように仮止め又は固定してください。仮釘抜き取り後の打ち跡は、パッチャルペンシルで仕上げてください。

■腰パネル裏面



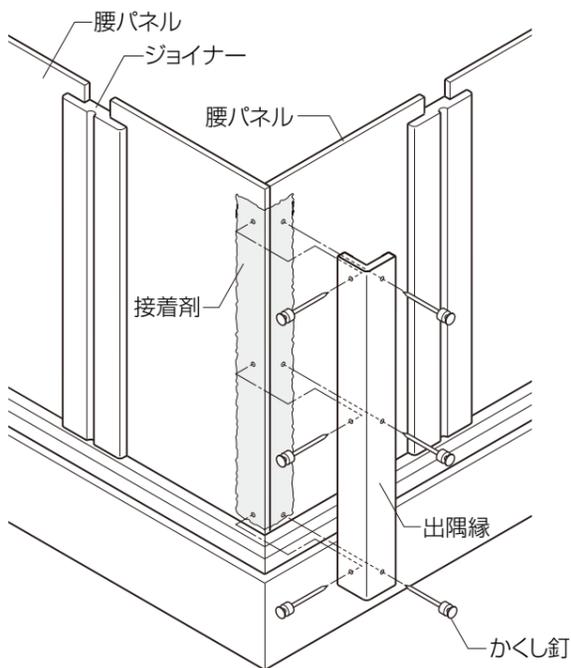
ドア(開口部)



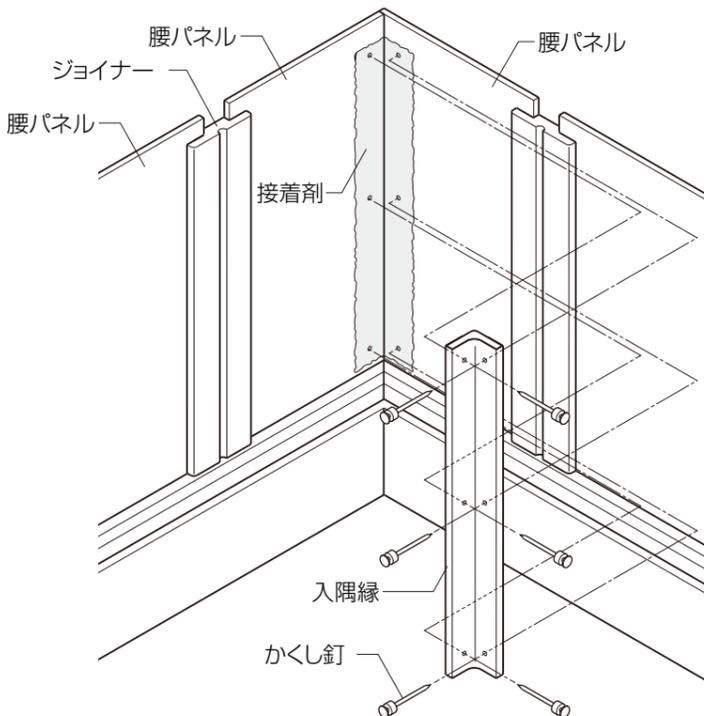
4 出入隅縁の取付け

- ①パネル同士を突付けたところに接着剤(ポリネートチューブ)を塗布し、出(入)隅縁をかくし釘で打付けてください。かくし釘の折り取り部は、パッチャルペンシルで仕上げてください。

■出隅納まり



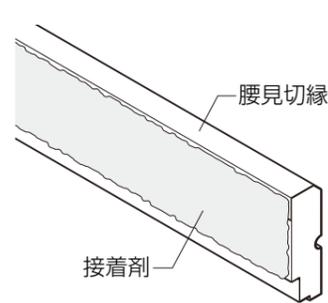
■入隅納まり



5 腰見切縁の取付け

- ①腰見切縁を必要寸法に切断します。
- ②腰見切縁の裏面に接着剤(木工用ボンド)を全面に薄く塗布し、かくし釘で取付けます。※かくし釘は、300mm以内の間隔で溝部に打ち込んでください。※腰見切縁はジョイナー・出入隅縁に突合せながら水平に取付けてください。

■腰見切縁裏面



ドア(開口部)

